

大阪880万人訓練のタイミングに合わせて避難訓練を実施しました

なにわの宮 副主任 中野 友里

2025年11月5日（水）大阪880万人訓練（10:00 地震発生、10:03、10:05 緊急速報メール）に合わせて、なにわの宮においても避難訓練を実施しました。

今年の大坂880万人訓練は「南海トラフ地震とそれを原因とする大津波警報発令」を想定しており、本来なら建物の3階以上に避難するのですが、今回なにわの宮としては「利用者様に救助担架フレストやすべり台を使っての避難を経験していただきたい」という目的のもと、3階から2階駐車場への避難訓練を実施することにしました。

点呼避難誘導係の職員の指示に従い、まずは非常階段を使って階下へ安全におりていただくよう利用者様に声掛けしながら、職員同伴のもと一歩ずつ慎重に階段をおりていただきました。

次に「救助担架フレスト」に横になって運ばれる要救護者役の利用者様が不安にならないよう「いち、に、いち、に」と一段ずつ声を掛けながら男性職員4名体制で非常階段を使って2階駐車場まで避難しました。協力して下さった利用者様に感想を伺うと「楽やった」「こわくない」とおっしゃっていました。

最後に車椅子の利用者様にも協力していただき、すべり台を使って3階から2階駐車場への避難を行い、全員が揃ったところで点呼確認しました。

利用者様向けの事前の防災勉強会により利用者様の防災意識が高まり、今回初めての「救助担架フレスト」「すべり台」を使った避難誘導でしたが、職員と利用者様がお互い協力し合い落ち着いて行動することができました。

今回の避難訓練を振り返り課題・改善点を話し合い、いつ起こるか分からない災害に備え、今後も定期的な避難訓練を通じて行うことで利用者様の安心・安全な環境づくりに取り組んでいきたいと思います。

